

熊本地震災害復旧事業、天皇陛下ご即位奉祝記念事業

津森神宮拝殿再建のための

玉垣新規建立奉賛のお願い



<現在の拝殿>

平成28年4月の熊本地震では、有史以来初めて震度7を2度も受震し甚大な被害を被りました。今日まで楼門や玉垣、東西末社の修理などを、県や神社界からの助成金、個人義援金等の温かい善意によって復旧して参りました。しかし、最大の被害箇所である拝殿の復旧については、氏子の皆様の生活再建を最優先として手つかずでした。その間も楼門や

石碑等の復旧は、出来る箇所から一步步進めて参りました

今年は、地震発生から6年を迎える年となり、コロナも少しずつ改善の明かりが見える中、拝殿再建計画に取りかかる頃となりました。拝殿再建に当たっては、本宮の格式や伝統にふさわしい風格、またこれからの参拝者のために、土間式で椅子式に、また団体参拝者がゆとりあるスペースを確保したより広い拝殿を建設したいと望んでいます。

そこで、その費用の捻出のために、現在の玉垣を御影石にて新規に作り直し、その建設費に奉賛のお気持ちを上乘せして、拝殿再建に充てたいと存じます。

ちなみに、現存する玉垣は、大正天皇の御大典記念のお祝いとして建立されています。建設から110年が経過しているため、刻印名を知る人はほとんどいません。今、令和の世となり新陛下をお祝いするこの機会に御奉賛頂く事は、家族や親戚の名前を後世に残す好機かと存じます。

つきましては、出来るだけ多くの皆様に玉垣奉賛を賜りたいと存じますが、今回の事業はあくまで賛同者（希望者）のみにて実施致します。篤きお気持ちを奉賛のお気持ちと重ねて、この令和の一大事業が見事に完結出来ますように、皆様方の温かい善意を賜りますように、切にお願い申し上げます。



<玉垣完成イメージ>

令和4年1月吉日

津森神宮宮司 甲斐喜三男

氏子総代会会長 小田 盛也

他役員及び氏子総代一同

「玉垣奉賛事業の概要」

- 1 全体募集金額目標 1000万円
- 2 玉垣金額 1本 10万円 御影石磨き 原則二名刻印
(太さ五寸、高さ三尺)
 - ・申込本数：一人二本までとします
 - ・刻印者名：夫婦、親子、家族、親戚、友人など
※既に亡くなられた方のお名前も可能です。
 - ・団体や会社名、法人名も可能です。
 - ・建立設置位置は、原則奉賛会に一任とします。
※但し、申込順や地区割等を鑑みて検討いたします。
- 3 新規建立数量 限定200本
- 4 募集対象者 氏子及び崇敬者
- 5 募集期間 第1期 令和4年1月1日～3月30日
限定数に達した場合は締め切りとさせていただきます。
※但し、余りがあれば第2期募集を行うこともあります。
- 6 申込方法 所定の申込用紙に記入の上、代金は現金手渡しや振り込みでお願いいたします。
- 7 問い合わせ先 津森神宮玉垣建立事務局 担当 (甲斐)

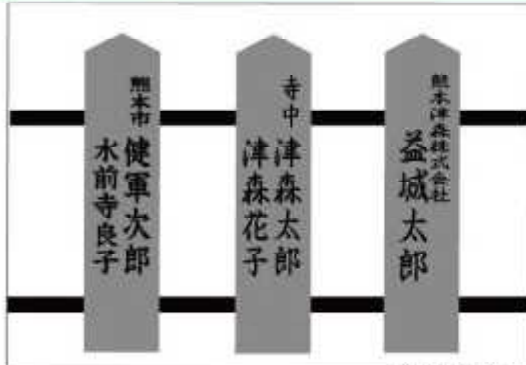
〒861-2201

熊本県上益城郡益城町寺中708番地 (津森神宮社務所内)

TEL 096 (286) 2808 Fax 096 (295) 1173

メール：tsumori-jingu1029@nifty.com

あなたの親しい方の名を 神社の玉垣に遺してみませんか？



(完成イメージ)

一本、二名刻印(原則)、10万円～

限定200本

(無くなり次第終了とさせていただきます。)

あなたのこの玉垣への奉賛費用は拝殿の 再建費用へと使用させていただきます。



現在の拝殿は熊本地震により
損傷しております。
再建のための費用の捻出のため、
どうぞお力添えください。

〔お問い合わせ先〕

津森神宮玉垣建立事務局

〒861-2201 熊本県上益城郡益城町寺中708番地(社務所内)

Tel096(286)2808 Fax096(295)1173